

# ダイヤモンド 民事再生手続き終了 早期に債務超過を解消

自動車関連部品製造のダイヤモンド(新潟市東区)と子会社のピーエムテクノ(同)は9日、東京地裁から民事再生手続きの終結決定を受けたと発表した。決定は6日付。債権者への弁済が完了し、親会社の投資ファンド「エンデバー・ユナイテッド」(東京)が一

改ざん問題を受けて業績が悪化。三菱マテリアは昨年12月にエンデバー社に保有株式をすべて売却した。ダイヤモンドは多額の債務から自主再生を断念。昨年12月21日に子会社と共に民事再生法の適用を東京地裁

に申請し、開始決定を受けていた。エンデバー社の支援を受けながら再生計画に基づき事業再生に着手。全株式を保有するエンデバー社以外の再生債権については、7月9日までに全額弁済を終

えた経営破綻から8カ月弱で、法的な処理を終えた。ダイヤモンドは、三菱マテリア(東京)の焼結部

品事業を担う子会社だったが、2016年と18年に相次いで発覚した検査データ

同社の21年3月期単体は、売上高158億5100万円、営業損失23億1300万円、経常損失19億2800万円、純損失58億5100万円。